

倭漢節用無雙囊

貳百四拾五年前の百科事典

松村 昌 勝

(会員 大分市大手町)

寶曆二壬申歲三月十九日(二七五二)彫刻印刷が免許された「倭漢節用無雙囊」は、その当時としては、珍しい知恵の裏であつたに相違ない。

松村家六代傳左衛門以降、先祖代々にわたつて公私の日常生活に活用し、表紙、裏表紙を何度も補修し、永年保存した、現代の百科事典にも相当する二六五頁に及ぶこの冊子の一部を紹介します。

目録(目次)には、一〇二項目を掲げ、辞書の部では、いろは順に乾坤、時候、神祇、官位、人倫、名字、衣食、支體、氣形、草木、器財、數量、言語の十三門部分註を繪示して説明を加え、現在とは全く異なつた分類をして倭・漢字を掲載し、片仮名と平仮名で音訓を施してある。

改正御武鑑には、畿内五箇国の「山城」から始まり、百二万五千石余の金沢城主正四位加賀中将治修卿、西海道九箇国の内、「豊後」の欄に、佐伯城 毛利和泉守高猷(八代高標) 二万石 江戸からの距離二百六十六里余とある。

倭漢八景并詩歌と浪華八景乃圖では、夜の雨、秋の月、晚鐘、帰帆、晴嵐、落雁、夕照、暮雪について、唐崎・勢田、天王寺・住吉などの近江八景、浪花八景と漢八景の洞庭秋月など、夫々に詩歌を添えて風景画が描かれている。

「圍碁の起并作物」については、本朝圍碁の始まりから碁局の作法、圍碁の作物、ワタル(盤)オサヘル(捺)などの碁の詞字に至るまで、盤面を图示し説明が記されている。また、「象戯(将棋)の初并作物」についても、中華将棋の始まりから「倭國象戯局式」や、盤面の合符など十四頁に及ぶ囲碁将棋指南が詳細に図解されている。

天竺(印度)、鞞鞞(蒙古)、朝鮮國、阿蘭陀の文字などに加え、「鴉鳴吉凶の占、燈花の占、掌中利紋の占、人相九面之吉凶」や、金銀錢両替の事から、「食物相合せの事」に至るまで、知恵囊の名に恥じない盛り

沢山の内容が詰め込まれて頁の空間を埋め尽くしている。
 筆者が、圖畫を下河邊拾水に、彫刻を伊澤亦次郎、石
 原半兵衛、樋口源兵衛、丹羽庄兵衛、永嶋六右衛門の五
 人に、印刷を京都書林に依頼して作成し、「此書や實に
 古今の秀帖なり」と自負して発刊した大冊である。



表 紙

目録

肥前長崎風景	烏鳴吉凶の占	葵祭之圖式	本朝遷都考
燈花善惡の占	鐘馗大臣故事	平安城京之圖	武州江戸之圖
鷄五徳の事	蟻螂向車故事	攝州大坂之圖	本朝官職考
牡丹花睡猫故事	大日本國之圖	扶桑百將傳	御公家鑑
同國號考	禁裏之圖	和漢六藝大意	漢禮之起
同造宮の説	公家百官名盡	和礼之始	小笠原食礼の式法
小笠原家手綱法	馬の息間之事	中華音楽の起	本朝神樂乃始
馬上心得之事	中華文字之始	申樂能の始	和漢楽器之圖
古文字并八肱 ^{てい} 事	真艸行手法	倭漢射法の始	歩射乃繪法
漢字日本傳來事	和字并片かなの始	倭漢数度之始	河圖洛書之事
假名いろはの起	いろは訳文并本字	大数小数之事	諸数名目之事
天竺 ^{だつたん} 并韃 ^{だつたん} 靴の文字	阿蘭陀并朝鮮文字	八算割掛之事	見一乗除の法
武家諸役名目	祇園會御輿洗圖	金銀錢兩替之事	米壳買算用一件
四條河原涼之圖	十三問部分註	杉形俵数を知法	田地積乃事
筆法門折紙調様	注文目錄等書様	町間の事	茶湯調様乃事
制札書様の寸法	箱曲物書付仕様	天目置合并立様図	初心立花指南
繪馬認様の事	手形證文案紙	同投入の心得	花生乃圖
京大坂堺江戸寺院	浪華八景乃圖	臺の物積物の法	圍碁の起并作物
		和漢故事画	本朝年代記
		年号用字盡	知死期并不成就日

有卦無卦之事	四季皇帝の占
食物相反の事	新改服忌令
諸社参詣忌の事	人相九面の吉凶
手之筋の占	篇冠構字盡
人の名頭字盡	石田教訓儉約丸
和漢八景并詩歌	名乘字盡
六十之圖	男女相性之事
本朝曲的乃圖	矢代勝負の事
和漢御之始	馬上諸器の圖
象戲の初并作物	中興武將傳略
改正御武鑑	東百官名盡
孟仲季の占	破軍星繚様
十干十二支	願成就大吉日

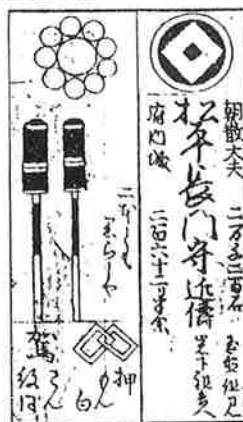
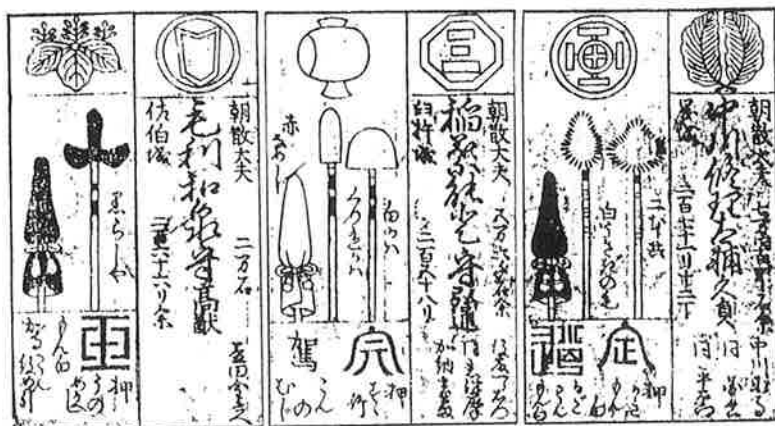
和漢八景并詩歌

近江八景	
唐崎の夜雨	石山の秋月
三井の晚鐘	矢橋の帰帆
粟津の晴嵐	堅田の落鴈

勢田の夕照	比良の暮雪
漢八景	
瀟湘夜雨	洞庭秋月
遠寺晚鐘	遠浦帰帆
山市晴嵐	平沙落鴈
漁村夕照	紅天暮雪
浪花八景	
田蓑夜雨	難波秋月
天王寺晚鐘	住吉帰帆
平野晴嵐	遠里小野落鴈
長柄夕照	高津暮雪

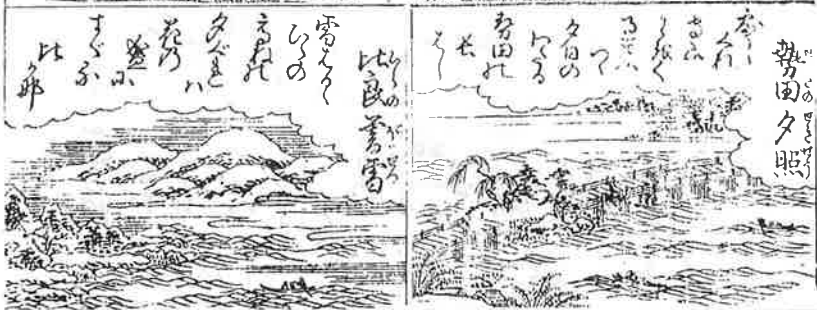
佐伯八景(参考)

松閣の夜雨	九峰の秋月
鼎山の晚鐘	中江の帰帆
城山の晴嵐	沖洲の落鴈
長瀬の夕照	南台の暮雪

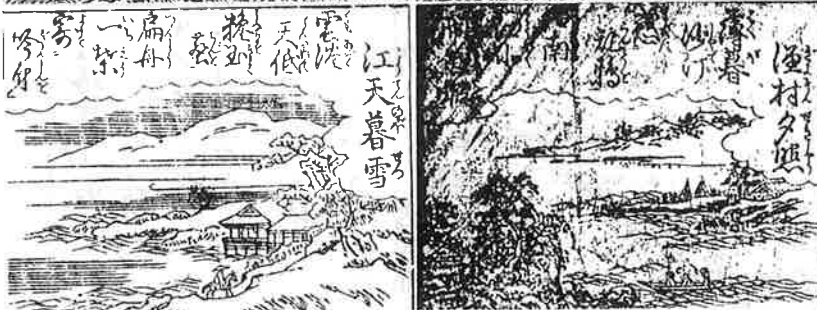
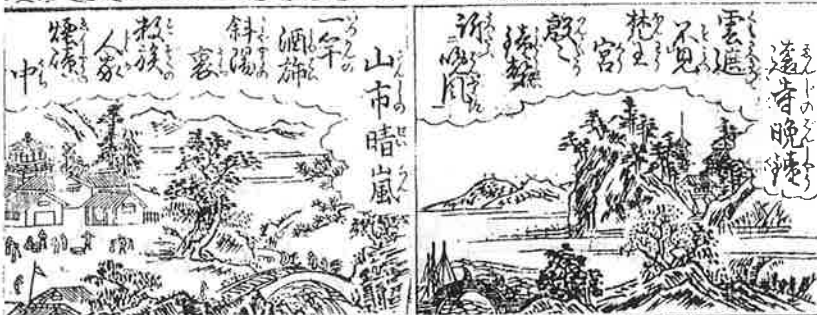


改正武鑑絵図のうち豊後諸藩

近江八景



漢八景

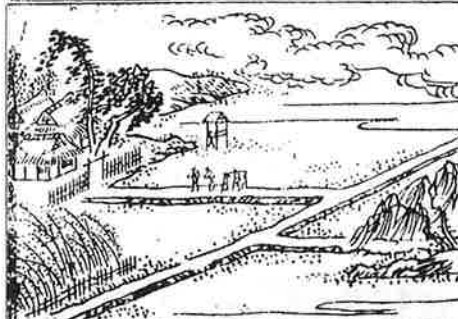




浪 蒼 八 景
 回 義 夜 雨
 ぬくまの田乃乃
 海の夕ぐれに
 夕ぐれに夕ぐれに
 夕ぐれに夕ぐれに



天 王 寺 晩 鐘
 夕乃 夕乃
 世 夜 夕乃
 夕乃 夕乃
 夕乃 夕乃
 夕乃 夕乃



平 野 晴 嵐
 音 夕乃
 夕乃 夕乃
 夕乃 夕乃
 夕乃 夕乃
 夕乃 夕乃



遠 里 小 野
 落 鴈
 夕乃 夕乃
 夕乃 夕乃
 夕乃 夕乃
 夕乃 夕乃